

**製品名: アンフィフィシン I ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06837**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	76kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AMPH
別名	AMPH; AMPH1; Amphiphysin
遺伝子 ID	273.0
SwissProt ID	P49418
免疫原	抗血清はヒト AMPH 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

**背景**

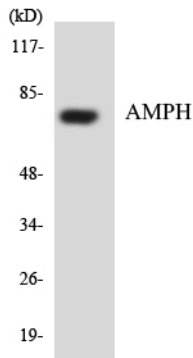
この遺伝子はシナプス小胞の細胞質表面に関連するタンパク質をコードしています。乳がんにも罹患したスティッフマン症候群の患者のサブセットは、このタンパク質に対する自己抗体が陽性です。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォー

ムをコードする2つの転写バリエーションが生成されます。追加のスプライスバリエーションが記載されていますが、それらの完全長配列は決定されていません。この遺伝子の疑似遺伝子は11番染色体上にあります。[RefSeq提供、2010年11月]、疾患: AMPHに対する抗体は、全身の筋肉の進行性硬直とそれに重なる有痛性痙攣を特徴とする中枢神経系のまれな疾患であるスティッフマン症候群の患者で検出されます。機能: シナプスおよび特定の内分泌細胞型における制御されたエキソサイトーシスのメカニズムに関与している可能性があります。膜結合細胞骨格の特性を制御する可能性がある。類似性: BARドメインを1つ含む。類似性: SH3ドメインを1つ含む。サブユニット: BIN1とのヘテロ二量体。SH3GLB1およびAP2A2に結合する。組織特異性: ニューロン、特定の内分泌細胞種、および精母細胞。

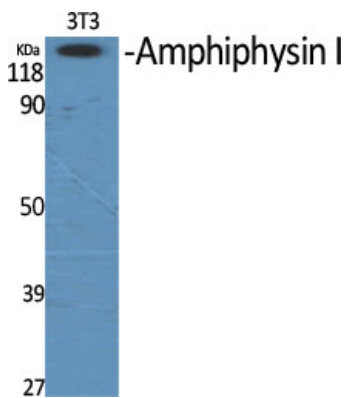
## 研究分野

FcガンマRを介した貪食作用;

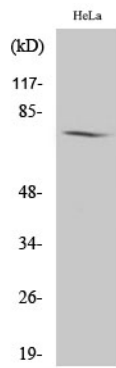
## 画像データ



AMPH抗体を使用したHUVEC細胞からの溶解物のウェスタンブロット分析。



アンフィフィシンIポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



アンフィフィシンIポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析